

報道機関各位

咽頭結膜熱警報の発令について

山形県感染症発生動向調査第45週（11月6日～11月12日）における小児科定点医療機関（県内28カ所）からの咽頭結膜熱患者報告数が一定点あたり3.07となり、咽頭結膜熱警報の基準（一定点あたり3）以上となったことから、本日、県内全域に「咽頭結膜熱警報」を発令します。

つきましては、県民の皆様への注意喚起に御協力くださるようお願いいたします。

1 感染症発生動向調査による一定点医療機関あたりの患者報告数

	第43週 (10/23～10/29)	第44週 (10/30～11/5)	第45週 (11/6～11/12)
山形県	0.96	1.25	3.07
山形市	0.83	1.00	4.83
村山	2.57	2.71	7.00
最上	0.00	0.67	0.33
置賜	0.60	1.40	1.00
庄内	0.14	0.14	0.29
全国	2.43	2.45	集計中

2 咽頭結膜熱について

咽頭結膜熱は、発熱、咽頭炎、眼症状を主症状とする感染症で、頭痛、食欲不振、全身倦怠感などの症状も見られます。

例年夏季に流行のピークが見られますが、年間を通して発生する感染症で、プールを介して流行することが多いので「プール熱」とも呼ばれます。

飛沫感染と接触感染により感染します。

3 咽頭結膜熱の予防

しっかりと手洗いを行い、タオルなどの共用を控えてください。特にトイレの後、おむつ交換の後、調理や食事の前には、十分に手を洗いましょう。また、プールを介しての流行に対しては、水泳前後のシャワーが大切になります。

4 咽頭結膜熱の発生状況（小児科定点医療機関28カ所からの報告）

（単位：人）

年	県内の年間報告数	県内45週現在の 累積報告数	全国の年間報告数
R1	962	592	73,959
R2	599	522	35,125
R3	630	476	34,078
R4	402	385	25,290
R5	—	603	集計中

○ 本県では、感染症発生動向調査開始（平成11年度）以降、初めての警報発令になります。

問合せ先 山形県健康福祉部健康福祉企画課
課長補佐 渡部 善記
023-630-2292
報道監 健康福祉部次長 柴田 優